

地域密着型特別養護老人ホーム

広報

・第22号・

2020.12.22

印刷 あべ印刷株式会社

愛護苑

●発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑

●住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3

●TEL 0197-51-6835 ●FAX 0197-51-6836 ●URL <http://aigokai.jp/>

●責任者 千葉信男 ●E-mail aigoen@aigokai.jp

●編集 今野暢也 岩城利行 阿部美由紀 遠藤華蓮 高橋護 切金唯希 成田朋子



今年は、新型コロナウイルス感染症に悩ませられ、白銀の世界になってしまった。外出が制限等、皆様におかれましては一日とも安心する事が出来ず、コロナ対策で大変なご苦労をされたのではないかでしょか。その中で、当苑では三密を避けながら余暇活動に取り組んでいます。

この間、余暇活動をしている中で女性利用者さんから、「昔は、お手玉をして遊んだけでした。今はそんな遊びしないで、女性利用者さんは「俺達は、けん玉・コマ回す」と話されていました。この会話を聞いたとき、「確かに、私達もけん玉・お手玉・おはじきで小学校の頃遊んだことはあるけど、まつたく遊ばなくなったり、いつの間にか何処かに行つてしまふとなあ」と思い出しました。

そこで私達は、お手玉作りを提案したところ、利用者さんから、「いいね、やろうやろう」と話されたので、制作に取り掛かりました。

一番苦労したのが、あずき入れでした。少なすぎても多すぎても手触りが良くなく、何度も作り直して何度も手触りが良くなかったので、出来上がりました。

そこで私は、お手玉作りを提案したところ、利用者さんは、「うつ病の改善」に効果があることが実感されました。普段難しある頭前野を刺激し、「認知症」のワクチンが出来、少しでも何事

さも緩かに、証症が顔暇くやだ」「懐かしい声でユニット内が和みました。それでも一層気を付けています。今一度気を引いてしまうことがあります。今まで段々と寒くなるこれからの季節、インフルエンザが来ます。今度は、一度かから季節に合わせて手洗いを繰り返す必要があります。この年は、年は、もう一度かかる季節になります。

この間、余暇活動をしていました。あやとりをしたのか、お手玉をして遊んだけでした。今はそんな遊びしないで、女性利用者さんは「俺達は、けん玉・コマ回す」と話されていました。この会話を聞いたとき、「確かに、私達もけん玉・お手玉・おはじきで小学校の頃遊んだことはあるけど、まつたく遊ばなくなったり、いつの間にか何処かに行つてしまふとなあ」と思い出しました。

そこで私達は、お手玉作りを提案したところ、利用者さんから、「いいね、やろうやろう」と話されたので、制作に取り掛かりました。

一番苦労したのが、あずき入れでした。少なすぎても多すぎても手触りが良くなかったので、出来上がりました。

そこで私は、お手玉作りを提案したところ、利用者さんは、「うつ病の改善」に効果があることが実感されました。普段難しある頭前野を刺激し、「認知症」のワクチンが出来、少しでも何事

昔懐かしい遊びを通して

介護部長 平野洋子

敬老会



敬老会が開催されました。今年はコロナウイルスの感染拡大防止の為、ご利用者さんは奥州市と愛護苑に来賓は招待せず、ご家族のみで開催となりました。愛護苑の記念品を受け取る際も、余裕の余地を設けました。また、会場は奥州市の施設でありますので、車椅子の方も乗りこなすことができました。

今年の敬老会では喜寿（七十七歳）の方（九十九歳）が二名おられました。年次記念品として贈られた花束や、お祝い言葉を含む手紙などを交換する場面には嬉しく涙を流されていました。

この様子を撮影して、お写真と一緒に喜んでください。

九月一六日、愛護苑で開催された敬老会が、今年も感染拡大防止の為、ご利用者さんは奥州市と愛護苑に来賓は招待せず、ご家族のみで開催となりました。愛護苑の記念品を受け取る際も、余裕の余地を設けました。また、会場は奥州市の施設でありますので、車椅子の方も乗りこなすことができました。

今年の敬老会では喜寿（七十七歳）の方（九十九歳）が二名おられました。年次記念品として贈られた花束や、お祝い言葉を含む手紙などを交換する場面には嬉しく涙を流されていました。

市内最高齢のお祝い



市内最高齢のお祝いが行われました。祝宴には、地域の有識者や関係機関の代表者など多くの来賓が参列し、賀詞交換や祝賀演説などが行われました。また、誕生日の誕生歌や、お祝いの言葉が交わされました。

防災訓練



防災訓練が実施されました。火事の消火方法を学ぶため、火災発生時に水や砂で対応する方法を教示しました。また、火事の原因となる火災危険性の認識も強調されました。



夏祭り



八月七日、夏祭りイベントが開催されました。三密を避けるため、ユニット毎に利用者さんに会場に移動してもらい、夏祭りの雰囲気に触れていただきました。今年度の夏祭りでは、金魚すくいならぬお魚釣りや、輪投げ、スイカ割りを楽しんでいただきました。更に、ビールに似せた飲み物を手に写真を撮り、利用者さんの笑顔が沢山見られていました。お土産も用意し、懐かしさも味わつてもらえたのではないかと思います。

利用者さんの普段では見られない意外な一面が見られ、気分転換となる良い機会になり、職員としても楽しませていただきました。



誕生日会



誰でも一年に一回の特別な日「誕生日」が訪れますね。今回は七月から十一月までにお誕生日を迎えてされた方々の紹介です。今回は職員と一緒に撮る写真よりも自然で素敵なお顔を見せてもらっています。普段あまり自分のことを話されない利用者さんも誕生日の当日はすこしそわそわとされていることがあります。やはり、一年に一度の特別な日だから、なのでしょうか。お誕生日、おめでとうございます。

厨房から 愛護苑の食卓

白身魚のイタリアンソテー（4人分）

◆材料

- ・白身魚（写真の魚はカラスカレイ）…4切れ
- ・塩コショウ…適宜
- ・薄力粉…適宜
- ・バター…1片
- ・トマト缶…1/2缶
- ・ミックスベジタブル…50g
- ・玉ねぎ…1/4個
- ・しめじ…1/4房
- ・コンソメ…小さじ1.5
- ・はちみつ…小さじ1
- ・付け合わせの野菜（写真はいんげん）…適宜

◆作り方

- 1.魚に塩コショウを振って5分ほど置き、薄力粉をまぶして焼く
- 2.鍋にトマト缶・玉ねぎ・しめじ・コンソメ・はちみつを入れて煮詰める
- 3.ミックスベジタブルは色よく茹でる
- 4.煮詰まったトマトソースにミックスベジタブルを混せてソテーした魚にかける
- 5.付け合わせの野菜を添える

*栄養士からひとと音

寒さが厳しくなると野菜の値段が高騰します。そんな時でもミックスベジタブルは手軽に使え食卓に彩を添えてくれます。今回はカレイを使用しましたがタラなど冬になるにつれて旨味が増すのでおすすめです！トマト缶を使用しイタリアン風としました。11月6日の昼食に登場しました！

栄養士 小野寺 彩



医務から 健康トピック

ワクチンを接種すると、副作用が出ることがあります。世界各地で進む新型コロナワイルスワクチンの臨床試験では、有効性と同時に、健康への影響も詳しく調べています。ワクチンは体にとって異物なので、接種して免疫が活性化に働き、熱や疲労感が出ることは珍しくありません。ワクチン接種の他、インフルエンザなどの感染症、免疫が正常な細胞を攻撃する「自己免疫疾患」で起きることもあります。摂取との関係は明らかになつていませんが、まれな副作用の可能性は否定できません。

○開発中の新型コロナワイルスワクチンで報告された主な副作用

- ・一日程度の発熱
- ・疲労感
- ・腕の痛みや張り
- ・頭痛
- ・悪寒

海外の新型コロナの感染者にワクチンを投与した結果、少数の発症例があり、インフルエンザワクチンでもまれに起きることがあり、接種後は注意しておかなければなりません。

看護師 千葉 律子



新任職員挨拶



介護職員

高橋 知美

皆様と楽しい時間を過ごしていきたいです。信頼される職員になれるよう、がんばりますので、宜しくお願いします。

トリックオアトリート！



編集後記

今年度も九ヶ月が過ぎようとしています。寒くなるにつれて新型コロナウイルスが再び猛威を振るい、県内の施設でもクラスターが発生するなど、も気の抜けない状況が続いている。そんな中でも利用者さんは寒さにも負けず、毎日元気にお過ごされています。その様子をお届けしました。

(広報委員一同)